

KEIWA COLLEGE REPORT

敬和学園大学と地域社会をつなぐコミュニケーション誌
敬和カレッジレポート

第89号 December 2017

発行/敬和学園大学後援会 敬和学園大学



Close up

「国際性を重視した豊かな英語教育の実現に向けて」

人文学部 大岩彩子

社会や文化のあり方を意識した英語の使い手を育成
多面的に物事を捉える力を育成するグローバルなキャンパス

敬和祭/ふれあいバラエティのご報告

オレンジ会による学生派遣「オレンジシティ訪問団」

授業紹介⑩「アクティブラーニング実習」長期インターンシップ



ディスカッション



グループ発表



ワークショップ

アクティブラーニング紹介① 「アジア・ユース・フォーラム(AYF)」

AYFはアジアの大学生世代が集い、グローバル人材を育成するためのイベントで、敬和学園大学の学生たちも毎年参加しています。今年は韓国で開催され、英語を共通語にお互いの文化を学び合い、社会の諸問題について議論を交わしました。セミナーやワークショップを通して、有意義な異文化交流が展開され、参加者同士の絆を深めることができました。参加者の多くは、イベント終了後もSNS等を利用し、世界に友人のネットワークを広げています。

誌面案内 Magazine Guide

Close up	1
「国際性を重視した豊かな英語教育の実現に向けて」 人文学部 大岩彩子	
社会や文化のあり方を意識した英語の使い手を育成 …	4
多面的に物事を捉える力を育成するグローバルなキャンパス …	6
学生の手で変えた、盛り上げた「敬和祭」	8
地域の皆さまと奏でたハーモニー「ふれあいバラエティ」 …	9
オレンジ会による学生派遣「オレンジシティ訪問団」 …	10
授業紹介①「アクティブラーニング実習」長期インターンシップ …	11
同窓会リレー・エッセイ④	12
「伝えることの難しさとうれしさ」 坂元楓 (22期生)	

〈表紙写真〉

オレンジシティ訪問団に学生2名が参加、
ニューヨーク マンハッタン島をバックに (p.10)

国際性を重視した豊かな英語教育の実現に向けて

敬和学園大学の教員となつて九年が経ち、現在は特任講師として二名の契約講師とチームを組み、英語教育に取り組んでいます。今回は私が考える「敬和の国際性」と、英語の授業を通して養って欲しいと思つている国際理解に必要なスキルについてお話ししたいと思います。

●大学の国際性って？

大学ランキングなどで評価される国際性の高い大学とは、外国人学生比率や外国人教員比率が高く、日常的に異文化交流ができること、海外留学プログラムが充実し、留学する学生が多いなどの項目による評価が主であると思います。本学も外国人教員の割合は高く、留学生や帰国生、外国ルーツのある学生も多く在籍しています。長期留学をする学生や海外短期プログラムに参加する学生もいて、JCLPPやAFSの留学生を受け入れる際には積極的に授業に参加してもらい、多様な文化交流ができる機会を設けています。本学の一、二年生のコア・コースでは週四回の授業があり、英語に触れる時間はかなりのボリュームがあります。聴く・話すクラスやオプシオン・コースの多くは英語で行われています。国際性＝英語教育と捉える人もいます。しかし、キャンパスで異文化交流ができて英語の授業が多ければ国際性のある

大学といえるのでしょうか。

毎年、教科書選びとシラバスを考える際、英語講師チームが原点に戻り、話し合うことがあります。それは、学生が英語教育をおして国際的な思考や判断をするためにはどのようなコミュニケーション能力が必要で、どのようなスキルを身に付けなければならず、さらには私たちが学生にどのような人間になつて欲しいのか、ということ。私たちの考える本当の意味での国際性とは、相互理解ができ、人権意識を持ち、世界平和のために行動ができ、世界の問題へ意識を向け、関わることでできる能力です。その国際性を養うために必要な三つのスキル＝態度と思考、技能、認識を、私たちの取り組みを交え説明します。

●1. 態度・思考

Self-respect まずは自己肯定できるようになつて欲しいと思います。基礎的な授業では、まず自身のことを考えて他者に伝えることから始まります。自分のことを英語をとおして客観的に見る、そしてポジティブな言葉を選んで説明する練習をします。授業内で「できた!」という成功体験ができるよう、適したレベルやチャレンジできる活動を考えています。特に今まで英語に苦手意識があった学生は「英語ができない」と思い込んで

Close up

人文学部
大岩 彩子



いる傾向がありますが、「自分が英語でできること」に注目し、成功体験の積み重ねで自信を持つてもらいたいです。

Respect for Others 他人の人を理解し、違いを尊重する態度を大切にしています。授業では他の人の話をきちんと聴くこと、聴いていることを表現する方法、思いやりのある声かけの仕方を練習します。まず相手に同意してから自分の意見を述べる表現や、相手がポジティブに受け取れる表現などを学びます。

Pride for the Community 自身の属する「コミュニティ（家族、学校、街、国など）」について話すことで自身の多様なアイデンティティを理解し、誇りを持つようになるって欲しいと考えています。例えば「Japan Studies」の授業では英語で日本について学び、日本固有の文化を発信することを学びます。

Accepting the Diversity 意見、文化、宗教、政治、性などの多様性を理解し受け入れることで国際性は養われます。授業でもステレオタイプを理解し、差別・排他を許さないという立場を自然に取り入れる方法をいつも模索しています。例えば使用している教科書が十分でなく「家族関係」のユニットに一般的な家族構成しか載っていない場合は、「同性婚」や「養子」という単語も学べるよう教材を作りました。同性婚について話し合う授業を計画するのではなく、入っただけで当然という前提で授業を進めます。「職業」のユニットでは、あえてステレ

オタイプのイメージを壊すような絵カードを作りました。例えば男性看護師、女性大工、ヒジャブをまとったパイロットなどです。高校生向け授業体験でも「敬和学園大学の国際性」を体験してもらうため、このような教材を使っています。

Peace and Justice 平和と正義について考え、意見を伝える活動をしています。読む・書く上級クラスで考えプレゼンテーションした「ゲームが世界を救う・世界をより平和にするゲーム案」は、とても興味深かったです。授業のトピックとして取り上げること、世界の平和のためにできること・必要なことを考えることを身近に感じて欲しいと思います。

Respect for the Nature 自然を大切にしよう、という意味では選ぶ教科書が大きいですか。現在使っている教科書は National Geographic, TED Talk の内容に基づくトピック別になっていて自然現況や環境、動物保護という内容が多いです。論文を書いたりプレゼンテーションをするクラスでは社会や世界の問題点を目を向けますが、環境問題をテーマに選ぶ学生が必ずいるので、クラス全体で自分たちができることを考えます。

●2. 技能

Problem-Solving 問題解決の方法を考える力を養うためには、問題点を見つけ対策を考えるだけでなく、意見を出し合い失敗を恐れず思いついたことをやってみる能力が必要です。今年、私たちの



マシュマロ・チャレンジの様子

授業でマシュマロ・チャレンジをやってみました。二〇本のパスタと一メートルの紐、一メートルのテープを使い、一つのマシュマロをどれだけ高い位置に置けるかを競うものです。時間制限のある緊張の中、自然とリーダーが生まれ、一つの方法がうまくいかなければ次の案をと失敗を重ねることが成功につながるという体験をしました。日々の授業でも、答え合わせはグループで行い、分からないことはまずグループメンバーで解決するなど、小さな経験を積み重ねて問題解決の技能を養うようにしています。

Creativity 想像力を養うことは今自分の身のまわりでは起こっていないことを考える土台となります。日々の授業をとおしてクリエイティブに、オリジナルに、ユニークに、どんなアイデアが出ても認められる環境でありたいと思っています

最近、単語・熟語の復習を兼ねてストーリーの「回し書き」をしました。最初のペアが、ある人が生まれた話を書き始めます。次のペアが幼児期を、次のペアが少年期を、次のペアが青年期を：とストーリーを書く人が変わっていくのですが、学生の枠にとられないユニークさがあり、みんなでゲラゲラ笑いました。このような想像力を使う経験の積み重ねがあつてこそ、実際には行ったことのない場所にいる会ったことのない人たちのことも考えられる能力が備わり、それが国際性につながると思っております。

Critical Thinking 情報でもデータでも、批判的に見る目―論理的に考え分析する目―を養って欲しいと思います。現代の言葉でいうリテラシーでもありますが、やはり使える言語が多ければ判断材料となる情報が増えます。そういう意味



なりたい自分、あげたいプレゼント、親切の連鎖を形にし、クリスマスの飾りをつくりました

での「使える英語」を習得できるように、上級クラスではニュースが聞き取れる、読めるレベルを目標にしています。

Language もちろん国際性を養うためには言語能力が必要です。同じ母語を話さない人とコミュニケーションを取るための言語として英語は必要でしょう。英語は「テストのための教科」ではなく、コミュニケーションのツールです。ですので、聴く・話すの授業では「正確さ」より「流暢さ」に重点を置き、伝わる英語を身につけて欲しいと思っています。

●3. 認識

Reality 社会の一部として自分には何ができるのか、地球市民として世界を少しでもよくするために何ができるのかを考えるきっかけとなるような授業を心がけています。自分の住む国以外で起こっていることに目を向ける、意識を持つ、知識を得ることが本当の意味での教養であり、そして国際性だと思います。主に上級のクラスでは、世界で起こっている戦争、不平等、搾取、人権問題や環境破壊などを知り、自分はどうな問題に興味があるのかを考える取り組みをしています。大学で学ぶ四年間は「社会・世界にはどのような問題があり自分は何の問題に目を向け取り組むことができるのかを考える期間だよ」と伝えていきます。

Intercultural Understanding 異文化理解という意味です。言語を学ぶことは、その背景にある文化を学ぶということ

とです。カレンダールの読み方や祝日の単元では、私の経験したカナダやアメリカの文化も話しましたが、留学生のいるクラスでは、それぞれの国でのお正月、母の日、七夕などを比較しました。そこでは、出身地によって国内、新潟の中でも祝い方や食べる物が違うことが分かりました。私たち講師も留学生を含めた学生たちもみんな違う経験をしてきて、多様な文化を持ち、さまざまな知識を持っています。全てが学びのリソースです。お互いから学びお互いを理解するという経験が異文化理解につながると思います。

私たちも日々学生の皆さんから学び成長させてもらっている中、学生の皆さんが国際的な思考、国際的な判断をするのに必要なスキルを養えるように、本学のリベラルアーツ教育を基本とする豊かな学びをサポート、応援しています。

Profile

大岩彩子 特任講師
プロフィール

●最終学歴

ハワイ大学マノア校修士課程 修了
(M.A. in Second Language Studies)

●こんな授業をしています

主に1年生と2年生の英語リスニング・スピーキング、上級クラスのリーディング・ライティング、TOEIC 試験準備コースの他に「プレゼンテーション・スキルズ」などのオプション・コースを担当しています。



読む・書く・聴く・話すの力を伸ばす
コア・カリキュラム

敬和学園大学では近年、英語を使った仕事に就く学生や、TOEICや英検で高いレベルに到達する学生が増えていきます。なぜでしょうか？語彙力などは本人の努力によるところが大きいです。普段の授業で日常的に英語に接することが大きなメリットとなっています。

本学の英語カリキュラムは実践的な英語力をつけることを主眼としています。英語の四技能をバランスよく伸ばすために、週四回のコア・カリキュラム科目と目的別の英語科目を開設しています。学生中心型の授業で、ピア・ラーニング（クラスメートと共に学ぶ、クラスメートから学ぶ）を大事な要素として位置づけていることもその特徴です。質問や発言しやすい少人数クラスで、グループワークなどをとおして能動的に学ぶことで、多様なバックグラウンドをもった学生がお互いに刺激しあいながら英語力を伸ばしています。二年生からは学生がそれぞれの

実践的な学びを通じて英語力が向上

英語文化コミュニケーション学科 二年 今井華

私は高校生のころから英語に力を入れて勉強してきました。私に通っていた高校では英語の授業が多く、授業の予習・復習や日記を書く課題、リスニングのクラスなど幅広く英語に触れてきました。放課後の英検対策講座に出席し、家では主にリスニングの勉強をしました。そして高校を卒業するまでに目標の英検二級に無事合格することができました。

敬和学園大学に入学してからは、英文法、発音、読む・書く、聴く・話すなどの授業を通して、より細かく丁寧に英語を学んでいます。その他にも、海外の文化や文学に触れる授業を通して異文化や歴史的背景を学んでいます。どの授業も英語が堪能な先生が担当してくださっており、中には英語のネイティブスピーカーの先生もいるので、これまで以上に英語を話す機会や英語で学ぶ機会が増えました。高校生の時は座学が多く、英語を使うことはほとんどありませんでしたが、大学では実践的な学びを通して英語力が向上していることを感じます。

これからもただ英語を学ぶだけでなく、積極的に英語を使い、身に付けていきたいです。また、英検やTOEICなどにも挑戦し続け、常に向上心を持って英語学習に取り組んでいきます。

先生のサポートで英検準一級合格！

英語文化コミュニケーション学科 二年 野上 悠太郎

敬和学園大学に入学し、飛躍的に英語力を伸ばすことができました。中学や高校では文法中心の授業が多く実践的な英会話が少なかったのですが、大学では英語の授業が英語で進行されるので、自然と英語に慣れることができます。さらに「話す」「書く」などの能力を養うことで、より実践的な英語力を身に付けることができました。大学一年生の時には、金山先生が通常授業のほかに特別に英検対策の授業をしてくださいました。この授業に加え、私は語彙の補強が重要だと思い、単語帳を一冊購入し、数か月かけて掲載されている英単語を暗記していきました。リスニングの勉強に関してはシャドーイングなどを行い、その後はひたすら過去問題集を繰り返ししました。このような努力の末に英検準一級を取得できました。時間を割いて授業してくださいました金山先生には本当に感謝しています。辛く苦しい戦いでしたが、合格通知を見た時は本当にうれしかったです。

勉強というものは時には苦しく挫折しそうな時もありますが、諦めずに努力して手に入れた栄光はかけがえのない宝物です。一生懸命がんばった自分に自信を持ち、そしてまた新たな目標に向けてがんばりたいと思います。

英語の使い手を育成

関心に合わせて英語科目を選択していきます。例えば英語を使う仕事に就きたいと考える学生なら、「ビジネス英語」「グローバル・イシューズ」「メディア英語」などの授業を履修するでしょう。

英語の学びをとおして学生は、今まで知らなかった社会や文化のあり方に意識を向け、自分自身の生活や価値観を見直し、それを他者に伝えることを学びます。このような経験が、多様性を受け入れる素地をつくります。留学やJCLPによる海外からの留学生との交流という体験も、英語力アップや学習態度に大きな変革をもたらします。

専門学校とは違うリベラルアーツ大学として、文化や社会について学びながら、発信すべき内容をもった英語の使い手を育てることが本学の英語プログラムの目指すところです。

(英語文化コミュニケーション学科 金山)



日本文化・日本語研修プログラム (JCLP) での留学生との交流

英語力向上を目指す高校生を応援

英検対策講座と資格特待生のご案内

九月二四日に中学・高校生向け「英検二級・準二対策英語集中講座」(参加無料)を開催し、二級二五名、準二級二一名計四六名の方に参加いただきました。四時間半にわたる長丁場でしたが、皆さん最後まで熱心に受講されていました。今回から、すでに上位資格を取得している先輩学生に授業のアシスタントに入ってもらい、資格取得に向けたアドバイスなども行いました。

敬和学園大学では、入学後も検定試験対策の授業や勉強会など、英語力を伸ばす機会を用意しています。英検二級合格者の授業料を免除する「新入生資格特待生制度」もありますので、ぜひご活用ください。(入試委員会)



本学の英検講座から多くの合格者が出ています

一月五日より出願スタート

学業選抜特待生制度のご案内

二〇一八年度入学者を対象とした「学業選抜特待生制度」の出願がはじまります。一月二七日、三月七日に実施する「学力試験型」または「センター試験利用型」(一期)(二期)(三期)の学業選抜特待生入試に合格すると、授業料全額もしくは国立大学並みの学費に減免されます。

そのほかにも、受験生の能力を多面的・総合的に評価するため、多種多様な入試制度を左表のとおりご用意しています。進学をご検討の方がいらっしゃいましたら、お気軽に広報入試課までお問い合わせください。(入試委員会)

2018年度入学試験日程

入試区分	出願期間	試験日
AO入試	4期 1/5(金)～1/22(月)	1/31(水)・2/7(水)
	5期 2/19(月)～3/16(金)	3/22(木)
一般入試	A日程 1/5(金)～1/22(月)	1/27(土)
	B日程 1/23(火)～2/6(火)	2/13(火)
	C日程 2/19(月)～3/1(木)	3/7(水)
センター利用入試	1期 1/5(金)～1/22(月)	平成30年度 大学入試 センター試験
	2期 1/23(火)～2/16(金)	
	3期 2/19(月)～3/16(金)	



ネイティブ教員による授業

敬和学園大学のキャンパスは、国際的で開かれた環境が整っています。授業時間はもちろん、掲示板や売店のあるピロティ、学食では、多くの日本人学生と共に、さまざまな国籍やルーツを持つ学生や教職員が集い、日本語のみならず、さまざまな言語で語り合う様子が日常となっています。

本学の留学生比率は六％（二〇一七年一二月現在）です。このほかに、外国にルーツを持つ学生が多く在籍しています。また、ネイティブ教員の比率が高いことも特徴で、専任教員の外国人比率は全国二五位の一六・七％です。日常的にあるグローバルな環境は、異なる文化への適応力、他者との違いを尊重する感性を養います。

海外留学とそれを支える奨学金制度も充実しており、毎年多くの学生が外国語能力を磨き、異文化を体験しています。アメリカやイギリス、オーストラリア、

成長の機会を与えてくれた敬和教育

国際化学科四年

全 美玉



敬和学園大学を卒業する時が近づいてきました。中国人留学生として、四年間の学生生活を振り返りたいと思います。

入学する前は、新しい環境に対する孤独な気持ちと緊張感がありました。しかし入学すると親切な職員さん、優しい先生とかわいい学生たちに恵まれ、敬和に入ってよかったと思えました。特に私は留学生なので、学習だけではなく、日本の生活にもさまざまな困難があります。その時、大学の方々は問題を解決するまでずっとそばにいてくれました。

敬和には、留学生が活躍できる機会がたくさんあります。「新入外国人学生歓迎会」や「餅つき大会」「ぶどう狩り」などの楽しいイベントだけでなく、地域で自分の力を発揮できる活動にも参加できます。私は一年間「新発田市学校支援ボランティア」に参加し、中国ルーツの小学生を対象に、個別の学習支援をしました。会うたびに笑顔が増える子供たちの姿は、自分の力の源になりました。私にとって敬和は、より自分を知り成長させてくれる温かい存在です。

みんなと一緒に学べる大学

英語文化コミュニケーション学科一年

ヘイル 利音 ロイド



敬和学園大学で学びはじめてから約半年が経ちました。入学してからすぐこのキャンパスには国際的なバックグラウンドを持った学生がたくさんいるなと感じました。私もその中の一人です。私はアメリカ人と日本人のハーフで、父との会話は英語です。幼少期はよくアメリカと日本を行き来し、日本に住みながらも欧米文化に触れてきました。学校の段階があがるにつれて英語やアメリカ文化への興味が強くなりました。授業以外にも自分から進んで英語を勉強し、音楽や映画なども海外からのものを好んで見聞きしていました。高校卒業後はアメリカに留学し、その後はフリーター生活を送っていたのですが、敬和に資格特待生制度があることを知り、入学しました。

敬和の最大の利点は多様性を認めることにあると思います。進学の際、これは安心につながりました。敬和は人種、国籍、宗教の壁を越えてみんなと一緒に学べる大学です。私もさまざまなものの方を吸収し、大好きな英語やそれを取り巻く文化を学んでいきたいです。

多面的に物事を捉える力を育成する

中国、韓国などの提携校への留学制度に加え、自由留学プログラムを利用して、学生自身が留学先を決めることも可能です。長期留学には、留学先の授業料の一部を給付する奨学金制度も用意しています。また留学期間は、一年を限度に修業年限に組み込まれるため、四年間で卒業することができず。

また、海外からの留学生も多く、留学しなくとも異文化を体験できる環境を整えています。例年六月に行われる「日本文化・日本語研修プログラム（JCLP）」では、毎年多くの留学生を迎え、本学学生と積極的な交流を展開しています。

このような環境で成長した学生たちは、卒業後の進路先でも、地域や企業の特徴的魅力や技術を価値観の異なる世界につなげています。敬和で学んだ、これまでの既成概念にとらわれずに多面的に物事を伝える力が生きています。



充実した海外留学制度

親切な友達や先生に囲まれて

英語文化コミュニケーション学科一年

グエン ティ ホン ハ



日本で二年間日本語を勉強してから敬和学園大学に入学しましたが、はじめはすごく心配でした。大学の先生は親切なのか、授業が分かるだろうか、日本人と友達になれるのかと考えていました。でも、そんな心配はぜんぜんなくて、今はたくさん日本人や中国人と友達になっています。分からないことがあっても日本人の友達に聞けば、すぐに詳しく説明してくれます。それだけではなく、日本語の使い方や表現なども教えてくれます。授業や生活については、先生が助けてくれます。困ったことがあった時には、どうすればよいのか、アドバイスをいただけるので全部解決できます。

私は英語文化コミュニケーション学科で英語はもちろん、日本語も学んでいます。キリスト教やボランティアなど社会につながる科目も学んでいます。さまざまなことを学び、視野が広がりました。入学して約半年が過ぎ、すごく安心して勉強したり、交流することができています。これからの大学生活でいろいろなことに取り組んでいきたいです。

自分を見つげるための学び

英語文化コミュニケーション学科一年

鈴木 香



私はタイと日本のハーフで、日本に住みはじめて九年経ちました。母国語はタイ語で、日本語は母国語レベルまで話せるようになりました。日本に来たばかりのころは文化や環境に慣れず、言葉も通じなかったので大変な思いをしました。

敬和学園大学は少人数の大学なので、自分の意見や考えを自由に、気軽に話せる雰囲気があると私は感じます。高校生までの私は失敗を恐れて発表や意見を言うことがすごく苦手でしたが、今は授業中積極的に発言できるようになりました。私みたいに日本語を母国語としない友達も多いので親近感が沸きます。そして、分からないことがある時、先生に相談しやすい環境が私に合っています。

私は、語学力を生かした仕事に就きたいのですが、自分のやりたいことが見つからず、正直自分がどこに住みたいのかも分かりません。九年間も日本で過ごしたのに振り返ってみると私はずっと空っぽに生きてきました。だから大学では勉強はもちろん、その原因が何なのか自分探しをして自分を変えていきたいです。

学生の方で変えた、盛り上げた「敬和祭」

今年の敬和祭は例年と違うものにしよ
うと実行委員一同取り組んできました。
「求む参加者!! (切実) く君はもう敬和
祭に参加したか?」このテーマは、私
たち実行委員全員の「心の叫び」です。学
生の参加率を上げて、敬和祭をどう盛り
上げていくかを考え、その思いをそのま
まテーマにし、表現しました。

私は昨年の敬和祭での先輩方の働きを
見て、私もこうなりたいと思い、委員長
をやらせてもらいました。今年は敬和ら
しい個性的なメンバーが集まり、先輩や
後輩といった壁というものがほとんどな
く、自由で積極的な意見、発想が生まれ、
敬和祭を変えることができたと思いま
す。(敬和祭実行委員長 斉藤孝幸)



たくさんの方の来場者で盛り上がりました

先輩たちの力を見せつけられた敬和祭



英語文化コミュニケーション学科一年
滝沢 拓未

大学生時代に楽しかったことは?と言
えば皆さんは何を思い起こすでしょう。
サークル、勉強、留学体験、さまざまあ
りますが、その中でやはり外せないのが
「学園祭」ではないでしょうか。今回私
はその学園祭の実行委員として活動でき
て大変うれしく思っています。

当日、自分の担当である受付や厨房で
の出入りの確認の仕事をしました。仲間
との協力もあり、楽しくこなすことがで
きました。私がミスをした先輩方がう
まくフォローしてくれました。それから
無線やLINEでの細かな情報伝達など
も先輩方はせっせと行っていました。思
い返せば当日だけではありません。前日
の準備や企画の運営活動などさまざま
な仕事を行っていました。先輩方の働き
によって今回の学園祭が成功したと言
えるのではないのでしょうか。
学園祭を終えた今、そのことを改めて
感じました。いざれ私は就職し、社会人
となるでしょう。その時に彼ら、彼女ら
の活躍を思い出し、日々の励みとした
と感じています。楽しい思い出をあり
がとつございませう。

最高の感動を味わえた敬和祭



共生社会学科 一年
阿部 裕大

私は敬和祭実行委員として、ゲストの
選定や当日の対応を担当しました。実行
委員会と相談し、今年は「美声女ユニツ
ト@音」のお二人をお招きしました。

ライブ前に、お二人に学内を案内しま
したが、敬和の魅力を感じてもらえた様
子が伝わり、うれしかったです。ライブ
では、美しい歌声とキラのあるかつこ
いダンスで、当日の寒い雨を吹き飛ばす
ように、会場にいらした皆さんと一緒に
熱く盛り上がる事ができました。その
後、抽選会やハイタッチ会、新CD予約
特典の握手会とチエキ撮影会が行われ
ました。とても丁寧な対応、いわゆる「神対
応」をしていただき、ご参加いただいた
皆さんにも満足していただけたのでは
ないかと思えます。今年さらに、人気絶
頂のお笑いコンビ、ANZEN漫才もお
呼びすることができ、たくさんの方の
皆さんに足を運んでいただけました。
大好きな声優さんに来てもらい、地域
の皆さんと一緒に盛り上がれた今年の敬
和祭は、私の心にとってもない感動をも
たらしてくれました。
最高の感動をありがとつ!!!

地域の皆さまと奏でたハーモニー

みんなで作り上げた笑顔の空間

一〇月二七日にふれあいバラエティを開催しました。ふれあいバラエティは地域の福祉施設の利用者さまを大学にお招きして、学生との交流を図ることを目的としたイベントです。開学当初から続くこのイベント、今年は「大江戸祭り」をテーマとして有志の学生十五名がスタッフとして参加しました。夏休みから準備を始め、学生が一つひとつ手作りした装飾は好評でした。また、今年初企画の会場全員で歌うプログラムでは、終了後も口ずさむ方もいて、やってよかったと心から思いました。ご参加いただいた皆さま、本当にありがとうございました！
(ふれあいバラエティ実行委員長 阿部咲)



参加者の皆さまとゲームで交流



英語文化コミュニケーション学科一年

星 彩水花

私は、サークルの先輩に誘われ、今回のふれあいバラエティに参加しました。初めて準備に参加する日は朝からとても不安でした。どんな人がいるのか、上手く馴染めるのか、やっぱり行かないことにしようかと悩むこともありましたが、しかし、足を運んでみると優しい人ばかりで、この活動に参加しなければ関わることのなかった人がたくさんいました。

その日から毎回準備に参加し、たくさん装飾品を作り、前日も準備や会場設営のために集まりました。そして迎えた当日は、あつという間に時間が過ぎました。夏休みから準備をしてきたものが、たった数時間で終わってしまったかと思うと、少し寂しくもありました。しかし、事前のみんなの努力があったからこそ成功し、みんなで協力して作り上げたからこそ、お客さまの笑顔があふれる素敵な空間にできたのだと思います。

先輩から誘われたあの時、参加しないという選択肢もありましたが、勇気を出して参加してよかったです。これからの大学生活も、この経験を生かしてさまざまなことに挑戦していきたいです。

子どもたちと過ごした素晴らしい経験

英語文化コミュニケーション学科三年

田辺 萌

私はこの夏休み、子供たちと一緒に南魚沼市で六泊七日のどきどきキャンプにリーダーとして参加をしました。子供たちと一緒にテントを張ったり、火をおこしてご飯を炊いたり、スバイスからカレーを作ったり、川で遊んだりとさまざまな体験をしました。大変なことはたくさんありましたが、その分楽しいこと、うれしいこともたくさんありました。この体験をおして多くのことを学び、たくさんの子供たちと触れ合うことができました。

子どもたちが好きで大学では児童英語教育を履修しています。この素晴らしい活動と学びをつなげ、将来に役立てていきたいです。



キャンプリーダーを担った仲間たちと
(左から3人目が田辺さん)

オレンジ会による学生派遣事業

オレンジシティ訪問団のご報告

オレンジ会のご支援で、敬和学園大学の学生二名がニューヨーク視察および姉妹校であるノースウエスタン大学（アイオワ州）を訪問しました。オレンジ会は普段から本学を支援してくださっている国際交流団体（会長：高澤大介 菊水酒造（株）社長）で今回は本学創立二五周年を祝つてのご支援となります。ニューヨークでは、国連やコロンビア大学、グラウンズゼロなどを視察し、アメリカの歴史と文化に触れることができました。また、ノースウエスタン大学では、学生同士の交流もあり、短い期間での濃密な経験により学生たちが成長する姿を見ることができました。今回の訪問では、本学とノースウエスタン大学との連携協議も行われ、来年以降、一層の学術交流の促進も期待されます。

（オレンジ会）



ノースウエスタン大学の学長・学生・
教職員の皆さんと

視野を広げ、将来を見つめました



英語文化コミュニケーション学科一年

樋口 知成

オレンジシティ訪問団に参加させていただき、多くの貴重な経験をしました。特に国連を見学できたことが一番大きな経験になったと思います。さまざまなことを感じ、将来のことを考えました。

そして私はあるトラブルでオレンジシティでのレセプションに参加できなかったのですが、そのことが逆に次の目標への大きな糧となりました。私はこの経験をみんなに伝え、これからの生活に生かしていきたいと思っています。

知らない世界との出会いと共感



国際文化学科二年

荏原 里香

高校を卒業する時、ある先生が私に「旅に出よう、旅には知らない土地に踏み入れた感動や、知らない人との出会いがある。そして、いろんな人と共感し、よく考えなさい。」という言葉を送ってくださいました。今回のアメリカ訪問で、この言葉の意味を真に理解できたと思います。アメリカで出会ったすべての人、目にしたたくさんのお物事一つひとつが人生の大きな糧となりました。この糧を大切に、有効活用していきたいと思っています。

二五周年記念募金者ご芳名

（二〇一七年一〇月三一日現在、敬称略）

〈一般〉

阿部 和夫、千葉 基、千葉 裕子、
猪狩 満友、今村 久美子、
石坂 泰子、笹川 寛、
佐々木 克治、菅原 正廣、
杉原 泰洋、鈴木 精一郎、
山際 多美子、
株式会社コメリ、
新潟総合警備保障株式会社、
堺朝禱会

〈卒業生・在学生・保護者〉

呉 賢欄（三）、門野 剛（二五）

〈学園関係〉

房 文慧、久島 公夫、
大澤 秀夫、柴沼 晶子、
下田尾 治郎、宇田川 潔、
山田 耕太

（ ）内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからの記念募金は、学生寮や
奨学金などに活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇五五〇・五・一〇二四二三

敬和学園大学

授業紹介①「アクティブラーニング実習」

長期インターンシップで、仕事と自分を見つめなおす

仕事における達成感を経験

地元企業・自治体からの全面的なご協力をいただき、長期インターンシップがはじまりました。初年度となる今年度は、島津印刷さまで三週間、新発田市さまで六週間の職場体験をさせていただぎました。二年生までに学んだ「地域学入門」「地域学」「アクティブラーニング演習」の知識を現場で実践することで、社会で生きる力を養うこと、合わせて働くイメージをしっかりと掴むことで、近年問題となっている若者の早期離職(ミスマッチ)を減らすことを目的としています。

長期での職場体験により、学生たちは、仕事体験に留まらないプロジェクトへの直接的な関わりに加え、お客さまとの接し方、職場での過ごし方まで、より現場を理解する経験ができたようです。



新発田市イクネスしばたでのインターンシップ



英語文化コミュニケーション学科三年 川崎 千夏

私は、地域に根付いた職場に就職したいという思いと子どもや人と接することが好きだという思いから、九月に三週間の日程で、新発田駅前複合施設イクネスしばたでのインターンに参加しました。

実習では、図書館や子どもセンター、各イベントのお手伝いなど幅広い仕事を体験しました。主に企画総務係というイベントの企画・運営などを行う部署での仕事に携わったのですが、そこで来年行われる「謎解き型リアル脱出ゲーム」の企画書を作り、最終日に職員の前でプレゼンテーションを行う課題が出ました。プレッシャーと不安とで心が押し潰されそうになりましたが、職員の方々からのアドバイスを受けつつ無事にやり遂げることができました。実際に、私の作成した企画書を土台にして準備を進めてくださることにになり、心からうれしく今でもあの時の達成感は忘れられません。

私は、今回のインターンで企画をつくり上げていくことの楽しさに気づきました。ここで得た自信と自分の興味・関心を具体的なものにし、就職活動に生かしたいです。

一般寄付者ご芳名

(二〇一七年一〇月三一日現在、敬称略)

〈一般〉

- 後藤 晋、 関口 一栄、
- 本間 進一、 今村 正博、
- 松崎 武・久美子、 柴山 ヒサ、
- 鷹澤 昭一、 田代 美津枝、
- 新潟YWCA、
- 日本基督教団新発田教会

〈卒業生・在学生・保護者〉
近 伸之(一)

〈学園関係〉
後援会、 オレンジ会

(一) 内、漢数字は期生、算用数字は回数

皆さまからのご寄付は、学生生活の充実に活用させていただきます。

〈郵便振替口座〉

〇〇六三〇・九・一九八九六

敬和学園大学



伝えることの難しさとうれしさ



二〇一五年度卒業
坂元 楓

私は今年の春からNHK新潟放送局でキャスターをしています。平日夕方に放送の番組「新潟ニュース610」を担当しています。テレビに出ない時は、ラジオを担当したり、取材や口ケに行ったりしています。先日は、まちカフエ・りんくの取材に行かせていただきました。ランチ、とってもおいしかったです。

さて私の学生時代ですが、日本語教育ディプロマを取得するべく勉強していました。特に刺激的だったのは、留学生と一緒に日本語表現を学ぶ授業です。留学生たちは、私たちが何気なく使っている日本語に、とても新鮮な疑問を持ちます。その言葉どういう意味？どういう時に使うの？わかりやすい言葉で教えて？などなど…。こういう質問、意外と答えるのが難しいのです。授業では毎回、自分が普段どれだけ曖昧に話しているか、「知ったかぶり」をしているかを痛感しました。このような環境で学べたことは貴重で、日本人同士で勉強していたら気が付かなかったことも多かったと思います。思っているより「言葉で伝える」って難しく奥深い。そして、伝えたいことが伝わっ

た時は何よりもうれしい！それを教えてくれたのが、敬和の授業でした。

キャスターの仕事でも、その学びは生かしています。一緒に学んだ留学生の顔を思い返ししながら、どんな人が聞いてもわかりやすい言葉選びで、的確な表現をすることを心がけるようにしています。

新人キャスター、職場では毎日が勉強です。失敗して落ち込むこともあります。そんな時は、大学時代の友人や教職員の方々と連絡を取り合って元気をもらっています。教職員の皆さんが卒業後も変わらず応援してくださって、敬和が母校でよかったなあと改めて感じています。

後輩の皆さん、四年間はびっくりするほど短いです。でもこの時間を大切に過ごしていれば、卒業した後も大学生活で得た学びや経験、関わった人たちが自分自身を支えてくれると思います。素敵な学生生活を過ごしてくださいね♪



担当する「新潟ニュース610」のスタジオにて

学事予告

◆二月◆

- 二 日 第一回入学前スクーリング
- 九 日 AO入学試験(三期) 面談日①
- 二二日 クリスマス行事
- 二六日 AO入学試験(三期) 面談日②
- 二七日 冬期休暇(一月三日まで)

◆一月◆

- 四 日 休業(創立記念日振替休日)
- 五 日 講義再開

一〇日 卒業論文提出締切

- 一三日 大学入試センター試験(二四日まで)
- 二七日 学業選抜特待生入学試験(学力型一期)

一般入学試験(A日程)

- 三二日 AO入学試験(四期) 面談日①

◆二月◆

- 三 日 後期講義終了
- 四 日 社会福祉士国家試験

五日 後期末試験(一〇日まで)

- 七 日 AO入学試験(四期) 面談日②
- 一一日 春期休暇(四月四日まで)
- 一二日 後期集中講義期間①(一六日まで)

- 一三日 一般入学試験(B日程)
- 一七日 第二回入学前スクーリング

- 二〇日 後期末追試験(二二日まで)
- 二六日 図書館蔵書点検(三月九日まで)

- 後期集中講義期間②(三月二日まで)

◆三月◆

- 五 日 再試験(六日まで)
- 七 日 学業選抜特待生入学試験(学力型二期)

一般入学試験(C日程)

- 九 日 外国人留学生入学試験(二期)
- 二二日 推薦入学試験(二期)

AO入学試験(五期) 面談日①②

- 二三日 卒業式、卒業記念パーティー
- 三二日 学年終わり

キャンパス日誌



8 August

- 4 広東海洋大学寸金学院国外特別聴講学生修了式
- 5 オープンキャンパス④ (126名)
- 6 夏期休暇 (～9月27日)
- 7 前期集中講義期間① (～11日)
- 8 聖籠町キッズカレッジ (陶芸教室) ② (25名)
- 14 夏期特別休業 (～16日)
- 16 教育活動アクティブワーク (～18日、国立妙高自然の家)
- 17 前期補講日 (～18日)
- 19 AO入試 (1期) 面談日①
- 21 前期補講科目試験日
- 22 前期集中講義期間② (～25日)
- 24 教員免許状更新講習 (60名)
- 24 新津南高校大学見学 (1年生40名、教員1名)
- 26 AO入試 (1期) 面談日②
- 28 前期追試験
- 28 国家試験対策講座3 (～9月1日)

9 September

- 8 AO入試 (1期) 合格発表
- 13 教職員FD・SD研修会
講師 大森昭生 共愛学園前橋国際大学学長
演題 「地学/学職/学職一体の大学改革」
教授会
- 14 理事会
- 22 中条高校大学見学 (1年生38名、教員2名)
- 23 AO入試 (2期) 面談日①
- 24 英検2級・準2級一次・二次試験対策英語集中講座②(46名)
- 26 北越高校大学見学 (1年生60名、教員2名)
- 27 前期卒業式
- 28 秋季入学式
- 29 履修相談日
- 29 新発田市オープンカレッジ①
講師 丸島宏太 教授「ルター巡礼」(31名)
- 30 法人・高校創立50周年 大学創立25周年記念行事(写真①)
記念式典(ゆーとびあ新潟市民芸術文化会館)
祝賀会(ANAクラウンプラザホテル新潟)

10 October

- 1 AO入試 (2期) 面談日②
- 2 後期講義開始
- 履修登録期間 (～7日)
- 4 教授会
- 5 新発田市立本丸中学校職場体験
(～6日、3年生2名)
- 6 AO入試 (2期) 合格発表
チャペル・アッセンブリ・アワー⑭
説教 山田耕太 学長「我一人で立つ」
前期エッセイ・コンテスト授賞式
講話 ベトナムからの留学生によるスピーチ
Nguyen Thi Hong Ha 英語文化コミュニケーション学科1年
Dang Thi Quynh Trang 国際文化学科1年
Dinh Quang Sang 国際文化学科1年
- 7 聖籠町ぶどう狩り交歓会 (12名)
- 11 教職員メンタルヘルス研修会
講師 宮川一三 新潟産業保健総合支援センター
メンタルヘルス相談員
演題 「ストレスを上手にコントロールするヒント」
- 13 チャペル・アッセンブリ・アワー⑮
説教 金山愛子 教授「言葉と経験と愛について」
講話 キリスト教主義大学ジョイント86平和学習プログラム報告
渡邊暉 国際文化学科2年
井口望都 国際文化学科1年



新発田市オープンカレッジ②

- 14 講師 下田尾治郎 准教授「宗教改革の精神」(32名)
- 共生社会学科公開学術講演会 (160名) (写真②)
- 講師 大橋謙策 公益財団法人テクノエイド協会理事長
演題 「地域包括ケア構築のあり方」
シンポジスト 本間淑之 新潟県福祉保健部高齢福祉保健課
川瀬聖志 新発田市社会福祉協議会地域福祉課
河田珪子 支え合いのしくみづくりアドバイザー
コメンテーター 大橋謙策 公益財団法人テクノエイド協会理事長
コーディネーター 山崎ハコネ 共生社会学科准教授
- 15 アメリカ・オレンジシティおよびノースウェスタン大学訪問(～21日)
- 20 チャペル・アッセンブリ・アワー⑯
講師 下田尾治郎 宗教部長「神の偏愛」
講話 敬和祭実行委員会「第27回敬和祭決起大会」
- 23 履修登録確認期間 (～26日)
- 25 避難訓練
- 27 ふれあいバラエティ(施設47名、学生スタッフ60名)
- 28 第27回敬和祭、進学説明会 (～29日)
ホームカミングデー (～29日)
学校法人敬和学園創立50周年
宗教改革500周年記念講演会&オルガンコンサート(写真③)
(敬和学園高校チャペル、73名)
講師 小田部進一 玉川大学文学部教授
「宗教改革の信仰と教育」
演奏 渡辺善忠 崇鳴教会牧師
「宗教改革運動と
オルガン作品の発展」
- 31 新潟市立東石山中学校大学見学
(3年生2名、教員1名)



11 November

- 1 教授会
- 3 ウィークデー・オープンキャンパス (49名)
- 8 企業との就職懇談会
(ANAクラウンプラザホテル新潟、134社174名)(写真④)
- 10 チャペル・アッセンブリ・アワー⑰
説教 山崎ハコネ 准教授「岩を土台として」
講話 聖生清重 星野富弘美術館館長「感動は生きる力」
- 11 推薦入学試験 (1期) 試験日
- 13 フィールド・トレーニング1 (～24日)
相談援助実習2 (～25日)
- 15 臨時教授会
- 17 チャペル・アッセンブリ・アワー⑱
講師 田中利光 准教授「あなたの初穂を献げよ」
講話 立木さとみ 立木写真館常務取締役(写真⑤)
「111年の時を超えて」
推薦入学試験 (1期) 合格発表
1・2年生保護者との懇談会 (57名)
- 18 「地域学入門」フォト・ウォーク
- 23 理事会
- 24 チャペル・アッセンブリ・アワー⑲
説教 藤野豊 教授「黒い羽根の記憶」
講話 就職活動について
丸島宏太 就職委員長
緒形愛 英語文化コミュニケーション学科4年
笹川優 国際文化学科4年
- 25 大学・高校合同クリスマス研修会(敬和学園高校)



Gems in KEIWA

チャレンジ学生ファイル Vol.56


日本一のチームを目指して

国際文化学科 2年
小川 桂汰



全日本総合バドミントン選手権にて (手前が小川さん)

松浦進二監督のコメント



小川・柴田ペアで臨んだ全日本総合選手権、2人とも実力以上の力を発揮してくれました。日本トップリーグの選手に勝てたことは大きな自信になったと思います。小川さんには、全日本トップを目指して欲しいと思っています。更なる飛躍を目指してがんばっていきますので、応援よろしくをお願いします。

小学校1年生の時に姉とバドミントンをはじめ、高校時代は春の選抜大会で全国3位となり、敬和学園大学には強化選手として入学しました。今はバドミントンづけの毎日です。

バドミントンの試合では、チームメイトと戦う団体戦が好きです。2勝2敗という場面で自分に勝敗を任された時に勝てた時は、本当に気持ちがいいです。こういった場面でいつも期待に応えられる選手になることが目標です。

自分がんばり、試合で結果を出していくことは、これまで競技を続けてきてお世話になってきた皆さんへの恩返しにと思っています。12月に開催された全日本総合選手権では、予選を勝ち上がり、本選でベスト16に残ることができました。同じ大会で、大学の先輩である武下利一さんが優勝(男子シングルス)したことは大きな目標になりました。まずは自分もナショナルB代表に入り、敬和を日本一のチームにしたいです。



敬和学園大学の最新情報

敬和学園大学

検索

www.keiwa-c.ac.jp

